

事 務 連 絡
令和 8 年 3 月 24 日

各都道府県消防防災主管部（局） 御中

消防庁消防・救急課

「令和 7 年度消防庁女性活躍ガイドブック」の作成について

平素から、女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的な取組に関し多大な御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、消防庁では、「令和 7 年度消防庁女性活躍ガイドブック（以下「ガイドブック」という。）」を作成しました。

このガイドブックは、女性消防吏員の更なる活躍推進に向けた取組に係る「各消防本部の良好な取組事例」や「女性消防吏員活躍推進モデル事業の取組事例」、「基礎データ資料」について掲載しています。

各都道府県消防防災主管部（局）におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、周知徹底されるようお願いいたします。

なお、これまでに作成したガイドブックや、女性活躍に関する通知等については、消防庁ホームページにも掲載しております。

【参考】

https://www.fdma.go.jp/relocation/josei_shokuin/josei-shokuin001.html

「消防庁HP－消防庁の役割－消防・救急体制の充実強化－女性消防吏員の活躍推進に向けた取組」より御覧いただけます。

消防庁消防・救急課 職員第一係 小川・能登 電 話 03-5253-7522 (直通) E-mail shokuin@soumu.go.jp

令和7年度 消防庁女性活躍ガイドブック

令和8年3月
消防庁消防・救急課



もくじ

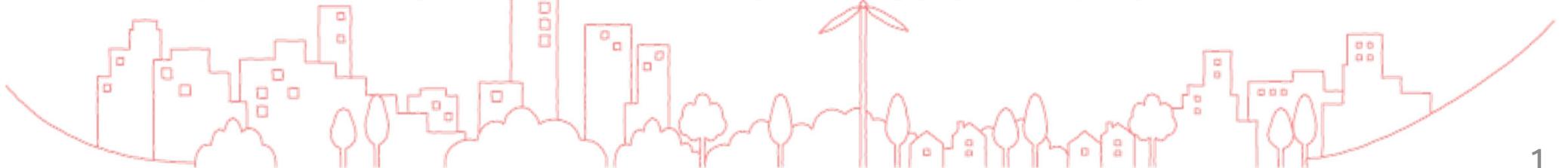
第1章 消防本部における効果的な取組事例の紹介

- ◆ 女性消防吏員の採用拡大に向けた取組 P 3
- ◆ 施設の整備・装備の改善 P 6
- ◆ 適材適所を原則とした職域の拡大 P 8
- ◆ 働きやすい職場環境づくりに向けた取組 P 12
- ◆ 若手女性消防吏員の声 P 14

第2章 「女性消防吏員活躍推進モデル事業」の紹介

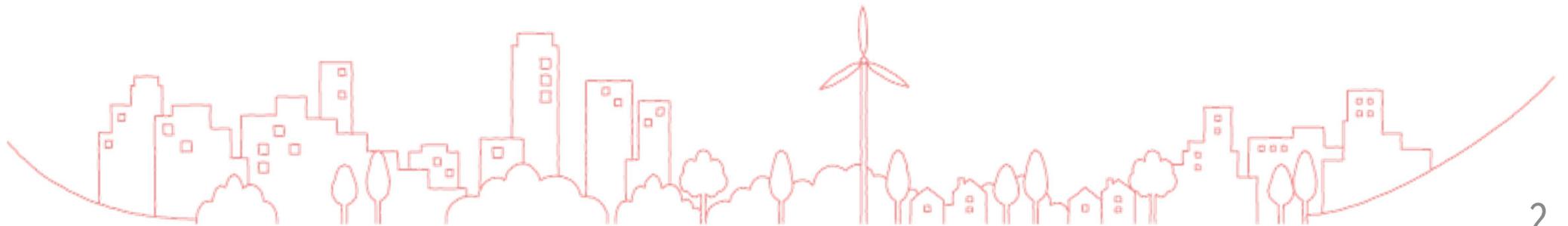
- ◆ 松山市消防局（愛媛県） P 17
- ◆ 徳島県庁 P 18
- ◆ 高知県庁 P 19

第3章 女性消防吏員活躍推進に係る基礎資料 P 20



第1章

消防本部における効果的な取組事例の紹介



【女性消防吏員の採用拡大に向けた取組】

■ 一宮市消防本部（愛知県）

- SNSを活用した採用発信

■ 高知市消防局（高知県）

- 女性消防吏員の活躍をメインとした広報
- SNSを活用した広報

■ 姫路市消防局（兵庫県）

- 女性限定就職説明会の実施

■ 福山地区消防組合消防局（広島県）

- 女性消防吏員ガイドブック作成

女性消防吏員の採用拡大に向けた取組

SNSを活用した採用発信

一宮市消防本部（愛知県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：409名
- 女性消防吏員数：9名
- 女性消防吏員割合：2.2%

事業実施の経緯

○消防の仕事に憧れを持ちながらも、職場環境等への不安から一步を踏み出せずにいる女性に、職場風景や環境、そして魅力をより身近に感じてもらいたいと考えました。

工夫したポイント

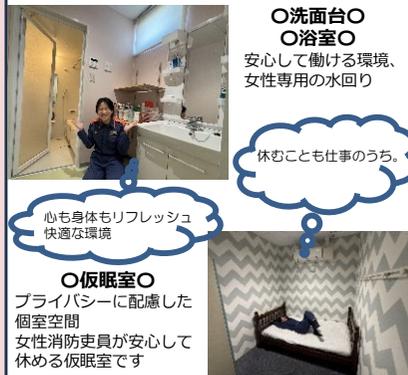
- 交替制勤務では、衣・食・住を消防庁舎内で過ごすため、女性専用施設の浴室、洗面所、脱衣所、仮眠室を掲載しました。
- 消防の中でも様々な業務があります。その幅広さ、多様性を感じてもらうため、実際の勤務の様子を掲載しました。

取組の効果

- SNS配信後の就職イベントには、この記事を見た方が多数来場されました。



SNSへの採用広報発信例



女性消防吏員の活躍をメインとした広報 SNSを活用した広報

高知市消防局（高知県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：390名
- 女性消防吏員数：12名
- 女性消防吏員割合：3.1%

事業実施の経緯

- 市の広報誌に女性消防吏員の活躍を知ってもらうための特集記事の投稿を提案。市の担当部局と協力し作成した表紙で全国広報コンクールにて総務大臣賞を受賞しました。
- Instagramでは、まず消防の職場に興味を持ってもらうことが必要と考えました。

工夫したポイント

- デザインは女性と男性がともに活躍できるイメージを意識しました。
- Instagramでは、職場の雰囲気と消防として伝えたい内容をバランスよく投稿しました。

取組の効果

- 令和7年度採用試験2名合格。徐々に効果が表れ、ここ5年間で計4名の女性消防吏員を採用できました。
- Instagramを見た県外の方からのインターンシップの申し込みや、採用試験時に受験者から「Instagramを見て高知市消防局で働いてみたいと思った」との声いただきました。



女性消防吏員の採用拡大に向けた取組

女性限定就職説明会の実施

姫路市消防局（兵庫県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：616名
- 女性消防吏員数：29名
- 女性消防吏員割合：4.7%



事業実施の経緯

○近年の採用試験において、女性受験者数が令和5年度2名、令和6年度3名と少ない状況が続いておりました。そこで、女性受験者の増加を図るため、女性限定の就職説明会を実施いたしました。

工夫したポイント

○参加者を増やすため、受験者世代に向けて、SNSを中心に積極的な情報発信を行いました。特に、参加申し込みはSNSのDM（ダイレクトメッセージ）で完結できるようにし、興味を持った方がWEBサイトなどを経由せず、その場で簡単かつスピーディに申し込めるよう利便性を高めました。



取組の効果

○令和7年度の女性受験者が13名に増加しました。（前年度比400%超）



女性消防吏員ガイドブック作成

福山地区消防組合消防局（広島県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：576名
- 女性消防吏員数：12名
- 女性消防吏員割合：2.1%

事業実施の経緯

○これから社会人になる年齢層の女性に対し、職業選択の際に消防士が選択肢の一つとなるよう、多くの女性に消防の仕事を知ってもらいたいと思い、ガイドブックを作成しました。



工夫したポイント

○災害現場で果たす役割、入庁後のキャリアプラン、出産・子育て支援策などを掲載しました。
○女性吏員の声や、様々な職域で活躍する姿を掲載しました。

取組の効果

○教育機関やマスメディア等へ情報提供し、対外的にPRすることで、「女性が働きやすい環境があることを知ることができた」との声をいただきました。

あなたのなりたいが 誰かのありがとうになる

福山消防女性職員 ガイドブック

3 出産・子育ての支援

女性吏員の 育休取得率 100%

消防士は地方公務員です。市役所の事務職員等と同様にさまざまな支援の仕組みが活用できます。

産前産後休暇
産前から育児休業まで、産後から育児休業まで、産前産後休暇と育児休業を併用して取得することができます。

育児休業
産前として取得することも可能で、育児休業を併用して取得することができます。

育児休業時勤務
小学校就学のお子さまに就学するまで、一定の勤務形態により、勤務する日・勤務時間において勤務することができます。

フレックス勤務制度も活用し、勤めつくりごとの柔軟な働き方から出勤し、仕事と生活の両立を促しています。

と、私も受けたりと休職をいただきました。職場復帰には特別に指導や研修等が受けられるようになりました。フレックス勤務制度の導入も、この手の日に合わせて勤務できることで、働きやすさを感じています。

※フレックス勤務は、産前又は育児休業期間が、1週間ごとの勤務時間の範囲内で、有休の消費及び就業の時間を柔軟にする勤務制度です。

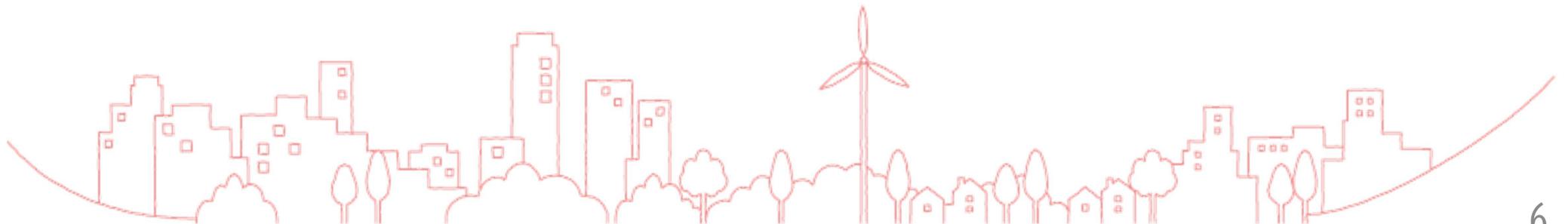
【施設の整備・装備の改善】

■ 長門市消防本部（山口県）

○ 女性専用施設の整備

■ 小松市消防本部（石川県）

○ 空気呼吸器等の個人支給



施設の整備・装備の改善

女性専用施設の整備

長門市消防本部（山口県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：68名
- 女性消防吏員数：1名
- 女性消防吏員割合：1.5%

施設整備の経緯

- 旧庁舎敷地は土石流警戒区域に指定されていたため、施設の老朽化に伴い、付近の高台に移転・整備しました。
- 今後の女性消防吏員の交替制勤務に備え、女性専用施設を整備しました。

工夫したポイント

- 仮眠室を完全個室化して、女性専用仮眠室を整備し、室内に浴室や洗面所、内線電話を設置することで、女性吏員のプライバシーに配慮した施設としました。
- 仮眠室から出動準備室への動線を考慮し、夜間の出動も迅速に行える配置としました。



仮眠室



浴室



洗面室

空気呼吸器等の個人支給

小松市消防本部（石川県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：138名
- 女性消防吏員数：6名
- 女性消防吏員割合：4.3%

施設整備の経緯

- 令和4年度に、災害現場での活動負担軽減を目的として、在籍の女性消防吏員4名に空気呼吸器及び軽量型空気ポンベを個人支給しました。その後も新規採用の女性消防吏員に支給しています。

女性消防吏員の声

- 自分専用の面体なので安心感があります。
- 個人支給の面体は自分にあったサイズなので、確実にフィットし、迅速に着装できるようになりました。

取組の効果

- 女性消防吏員だけでなく、面体を共有することに抵抗を感じていた男性消防吏員からも支持を得ました。
- 女性消防吏員への個人支給をきっかけに、令和5年度から、男性が使用する空気ポンベも順次軽量型へ切り替える整備を開始しました。
- 空気ポンベの軽量化により、女性消防吏員の働きやすさや安全性が向上しただけでなく、男性消防吏員の負担も軽減され、業務の効率性がさらに高まりました。



【適材適所を原則とした職域の拡大】

■ 釧路市消防本部（北海道）

- 道内初の女性水難救助隊員誕生

■ 深谷市消防本部（埼玉県）

- 県内初の女性救助隊員誕生

■ 川口市消防局（埼玉県）

- 県内初の女性消防署長誕生
- 県内初の女性救助隊員誕生
- 県内初の女性水難救助隊員誕生



適材適所を原則とした職域の拡大

道内初女性水難救助隊員の誕生

釧路市消防本部（北海道）

本部概要

- 消防吏員（R7.4.1）：321名
- 女性消防吏員数：8名
- 女性消防吏員割合：2.5%

水難救助隊を目指した経緯

- 釧路市には水難事故に備えた専門の救助隊があり、入庁後の新規採用職員研修でその存在を知り、強く憧れを抱きました。
- 海が好きで、海猿にも興味があったため、特技の水泳を活かせる水難救助隊員を目指して資格を取得しました。

取組の効果

- 水難救助隊員としてさらに技術と知識を磨き、将来的には、女性初の水難救助隊員養成の指導者を目指しています。



消防本部公式youtubeチャンネル
水難救助隊員養成時 密着動画



水難救助隊配置後、厳冬期潜水訓練の様子



県内初女性救助隊員の誕生

深谷市消防本部（埼玉県）

本部概要

- 消防吏員（R7.4.1）：231名
- 女性消防吏員数：5名
- 女性消防吏員割合：2.2%

救助隊を目指した経緯

- 幼少期から、消防官に憧れ、人のために働きたいと考えていました。
- また、多岐に渡る消防の仕事の中でも、人命救助の最前線で活動することで、自身が生まれ育った深谷市に貢献したいと考え、救助隊を志しました。
- 現在は、隊員や機関員として、上司や同僚の支援を受けながら、訓練に励んでいます。

取組の効果

- 救助隊として、更に知識と技術を磨き、多くの住民に還元していくのはもちろんのこと、数少ない女性救助隊員として、良きロールモデルとなり、多くの女性が消防官を目指すきっかけになるような存在になりたいと考えています。



強制進入訓練



深谷第2中隊救助係



防火衣装着時

適材適所を原則とした職域の拡大

県内初の女性消防署長誕生

川口市消防局（埼玉県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：607名
- 女性消防吏員数：38名 ○女性消防吏員割合：6.3%

管理職を目指した経緯

消防の世界は、長く男性中心の職場が続き、私が入職した当時、全国的に女性が管理職を務める姿はほとんど見られませんでした。

現場活動や勤務形態の厳しさから、女性には難しいという固定観念が根強く残っていたことも事実です。

しかし、日々の業務を通じて、多様な視点や価値観が組織の力を高めることを実感するようになりました。

現場で市民と向き合い、部下と信頼関係を築く中で、「性別に関わらず、意欲と責任感を持つ者が組織を導くべきだ」という思いが強くなり、管理職を目指すようになりました。

消防署長になって

消防署長になって強く感じたことは、この職責の重さと同時に、支えてくれる多くの部下の存在です。

消防の現場は、性別に関係なく、判断力・責任感そして人を思う心が問われます。

署長として日々の決断を下す中で、これまで培ってきた経験一つ一つが、確かに今につながっていることを実感しています。



消防局公式キャラクター
多々良令
(たたら れい)

川口市消防局
KAWAGUCHI CITY FIRE DEPARTMENT

消防局公式キャラクター
水神 リリア
(みずかみりりあ)

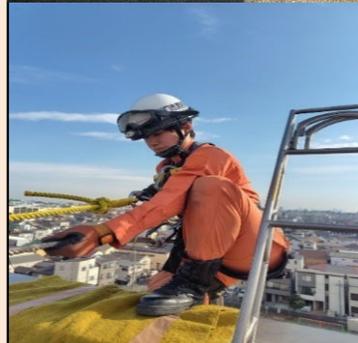
県内初の女性救助隊員・水難救助隊員誕生

川口市消防局（埼玉県）

救助隊を目指した経緯

○先輩方から救助の過酷な訓練や現場での活動体験を伺う中で、災害現場における救助隊の存在感に憧れを抱き、私も川口救助の一員として、専門的で高度な知識・技術を学び、いかなる困難な状況下であっても、一人でも多くの命を救いたいと思い、救助隊を志しました。

○局内の救助技術研修を経て救助隊員の認定を受け、次年度からは念願の救助隊員になることができました。現在は、はしご車の機関員としての資格取得を目指し、精進しております。



今後について

○『要救助者ファースト』の気持ちを忘れず、災害現場で安全・確実・迅速な活動が行えるよう、日々の訓練や、専門知識の習得、体力錬成に励んでいきます。

水難救助隊を目指した経緯

○ライフセービング活動を通じ、人命に関わる現場で助けを求める人のもとへいち早く駆けつけ、心に寄り添うことのできる消防吏員を目指しました。

○入庁後、これまでの経験を活かしたいという強い思いから、水難救助隊員を志しました。川口市消防局では女性隊員の前例がなく、配属当初は試行錯誤の連続でしたが、周囲の支えに助けられ、現在は隊員の一員として日々任務に励んでいます。今後は自らが道を切り拓き、後輩たちの目標となれるよう、努めてまいります。



今後について

○「この隊員に救助されて良かった」と思っただけのよう、日々の研鑽を重ねてまいります。市民の皆様から厚い信頼を寄せられる水難救助隊員を目指します。

【働きやすい職場環境づくりに向けた取組】

■ 横浜市消防局（神奈川県）

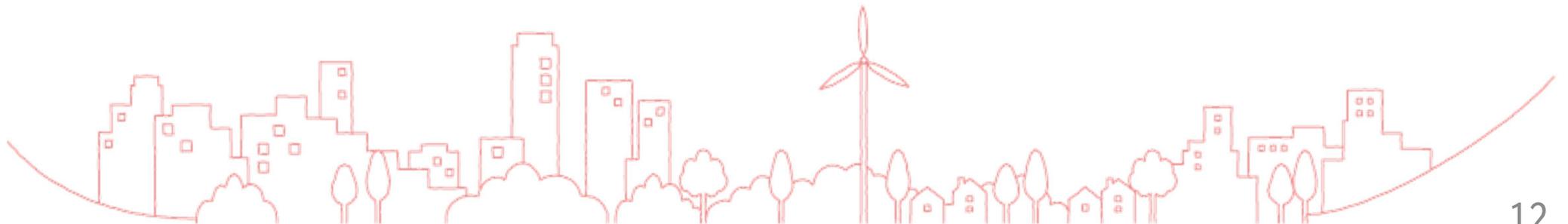
○ 市長部局との座談会

『消防女子×土木女子の座談会～現場女子、語る～』

■ 青森県消防学校（青森県）

○ 県内初の女性消防吏員を対象とした

「あおもり女性消防吏員緊急消防援助隊訓練」



働きやすい職場環境づくりに向けた取組

市長部局との座談会 『消防女子×土木女子の座談会 ～現場女子、語る～』 横浜市消防局（神奈川県）

本部概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：3,809名
- 女性消防吏員数：187名
- 女性消防吏員割合：4.9%



事業実施の経緯

○「同じ市役所内でも、同様な悩みを持つ女性が居るのでは？」という素朴な疑問から始まり、「消防と同様に女性の少ない職種（技術系職種）の取組にもヒントがあるはず！」と考え、企画立案しました。



工夫したポイント

○お互いの職種から、人事課による現状説明、女性管理職の講演、これらを踏まえた座談会を実施し、参加者自身の働き方・キャリア形成を考える機会の創出、新しい視点を得ることを目指して取り組みました。



取組の効果

- 市長部局の中でも「現場」を持つ職種だからこそ、施設面やキャリア形成といった共通する課題もあり、業務内容は違えども、土木職も身近な存在のロールモデルとなることが分かりました。
- また、消防局以外の女性職員同士のつながりの創出にもなり、今後の業務における有効なネットワークも構築できたと感じています。

県内初の女性消防吏員を対象とした 「あおりり女性消防吏員緊急消防援助隊訓練」 青森県消防学校（青森県）

県概要

- 消防吏員数（R7.4.1）：2,678名
- 女性消防吏員数：62名
- 女性消防吏員割合：2.3%



事業実施の経緯

○青森県消防学校女性活躍部会（県内女性消防吏員等で構成）において、「緊急消防援助隊への女性消防吏員の派遣」について取り上げることとなり、本訓練を企画立案しました。



工夫したポイント

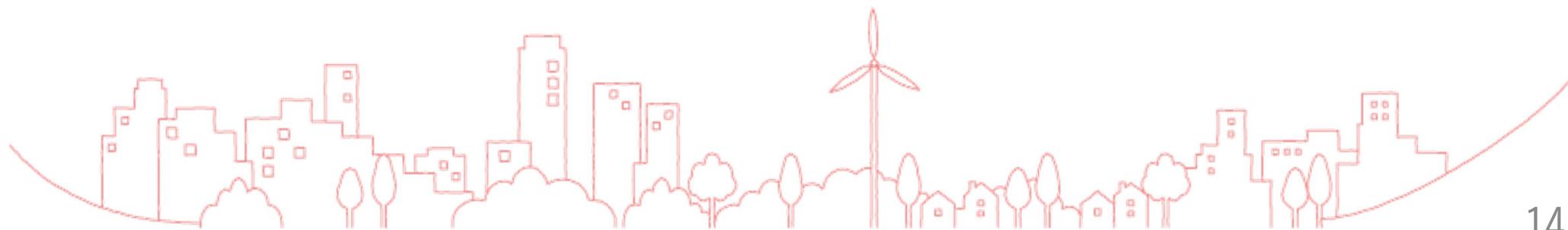
○緊援隊の制度、部隊運用に関する講義や後方支援活動に関するシミュレーションのほか、実動訓練として支援車の操作訓練や資機材の取扱訓練、屋内訓練場での宿営訓練を実施するなど、主に後方支援活動全般の対応能力の向上を目指しました。



取組の効果

- 今回の訓練を通じ、緊援隊として派遣される際に必要な知識と能力の向上を図ることができ、県内女性消防吏員の活動範囲が広がることを期待されます。
- 今回の訓練に関する資料を県内消防本部へ送付することにより、研修に参加できなかった女性消防吏員に周知されるとともに、緊援隊への派遣体制や派遣に係る環境の整備の推進に寄与することが期待されます。

若手女性消防吏員の声



若手女性消防吏員の声



福井県 永平寺町消防本部（消防隊員・救急隊員）

私は、困っている人の役に立つ仕事に就きたいと消防吏員を志しました。現在は、消防隊員及び救急隊員として現場活動に従事するとともに、知識・技術の習得に向けて日々励んでいます。体力面では、男性職員に比べ課題を感じることもあり、体力錬成を継続し、さらなる向上に努めています。

救急現場では、傷病者やご家族が「ありがとうございました。」と声をかけてくださることもあり、大きなやりがいを感じています。今後も、女性ならではの気配りや安心感を大切にし、誰からも信頼される消防吏員を目指して精進していきます。



京都府 福知山市消防本部（救急隊員）

私は、高校生の頃に災害医療に興味を持ち、救急救命士という職を知りました。誰よりも早く現場に駆け付け助けを求めている人に手を差し伸べることができるところに魅力を感じ、消防の道へ進みました。

現在は、主に救急隊員として現場での経験を積んでいます。まだまだ知識も技術も未熟ですが、女性であることを生かして安心感を与えられるよう声掛けなどを心がけています。

体力や筋力では男性職員に劣ってしまう部分がありますが、どんな現場にも対応できるよう、訓練や体力錬成に励み、安心感を与えられるような救急救命士となれるよう励んでいます。

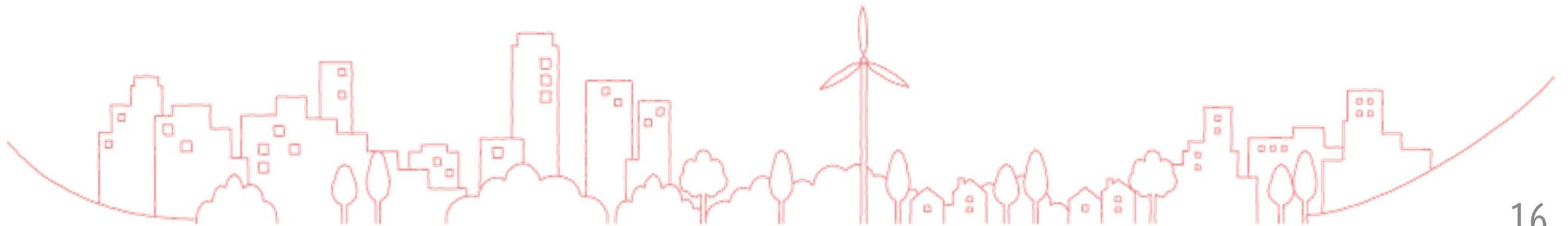


京都府 福知山市消防本部（消防隊員・救急隊員・救助隊員）

私は現在、消防隊・救急隊・救助隊を兼任し、あらゆる現場に出動しています。中でも最近では救助分野に関心を持ち、当務中の訓練に加え、ロープレスキューのチームに所属して専門的な訓練や講習会への参加にも取り組んでいます。知識や技術を積み重ねる日々は学びに溢れ、毎日充実していると感じています。実際の現場で要救助者にとって最善の活動を行うためには、多くの選択肢を持つことが不可欠だと考えており、そのために知識や経験の引き出しを一つでも多く増やし、「この人と一緒に現場に出たい」「この人に来てもらえて良かった」と仲間や市民の方に思ってもらえる消防士を目指し、これからも成長を続けていきたいです。

第2章

「女性消防吏員活躍推進モデル事業」の紹介



女性消防吏員活躍推進モデル事業

【松山市消防局(愛媛県)】 全ての職員が輝く消防を目指す 【あいFIRE】事業



・管轄区域：愛媛県松山市
・消防職員数：468名
・女性消防吏員数：24名 (5.1%)

●事業概要

女性職員の心身に関することや、子育てへの理解など誰もが働きやすい職場環境づくりには男性職員が理解を深める必要があります。体験や研修動画を視聴することで、県内本部が統一した認識を持つために、以下の事業を実施しました。

- ① あいFIREワーキンググループ
- ② 女性活躍推進事業に関する研修動画
- ③ フェムテック研修
- ④ 男性職員の育児休業取得事例集



【あいFIREワーキンググループ会議】

●事業内容

① あいFIREワーキンググループ

(愛媛県消防長会 女性の活躍推進に関するワーキンググループ)

愛媛県内消防本部の女性活躍推進に対する課題の抽出と、解決に向けた事業への取組を共有しました。

② 女性活躍推進事業に関する研修動画

「女性活躍推進事業に関する法整備」、「職場の環境整備」など、女性活躍推進事業の背景や必要性のほか、「消防本部における女性活躍推進に関する検討会」の概要をまとめた動画を作成しました。県内男性職員に視聴してもらい、理解を深めることで、今後の事業参加や女性職員とのコミュニケーションの促進に繋がりました。

4機関女性職員交流会

愛媛県4機関(白鷺隊・海上保安部・警備・消防)で実施
【内容】
● 消防吏員
● 消防士としての心身
● 消防士としての心身
● 消防士としての心身
● 消防士としての心身

女性消防吏員の割合について(消防現況)

(1) 消防本部における女性消防吏員に関する検討会 (令和7年4月~12月)
・平成27年以降、女性消防吏員数は増加し、記録の伸びが拡大。
・女性消防吏員は増加傾向にあるが、すべての消防吏員が働きやすい職場環境の構築に向け、課題の克服が求められる。
(2) 検討会報告書の概要 (令和7年12月26日)
・報告書に女性消防吏員の比率を10%増やすこととして、今後3年間で1%増進率に到達するよう具体的な取組を明記。
・SNSでの発信、採用試験への要件の緩和など、積極性や利便性を考慮し、働きやすい職場環境の構築など。
・日一を70%の増進率、目標値の小児化、軽減化など

今後の取組み

- 女性活躍推進事業が女性だけの事業でなく、誰もが働きやすい職場環境づくりのための事業という認識を共有するため、あいFIRE(女性活躍推進事業推進連絡会)
- 消防士としての心身(消防士としての心身)
- SNSでの発信等、積極的な広報活動の実施
- 働きやすい職場環境の構築

【女性活躍推進事業に関する研修動画】

③ フェムテック研修

四国フェムテック協会理事を講師に招き、女性の心身についての講義をはじめ、生理痛疑似体験や実際の生理用品に触れる実技研修のほか、女性職員の声を聞き、現場のニーズを共有するリアルボイスグループワークを実施しました。当日は55名(男性28名、女性27名)が参加、研修の様子はYouTubeで職員への限定公開として、県内全消防本部にも共有しました。



【フェムテック研修の様子】

④ 男性職員の育児休業取得事例集

育児休業取得経験のある県内男性消防職員のうち12名の経歴紹介、仕事と家庭を両立させるための工夫や取得に対する不安へのアドバイスのほか、育児休業取得者へのQ & A、消防本部の組織としての取組の紹介しています。

今後、育児休業の取得を検討する男性職員の参考となるよう活用します。



【男性の育児休業取得事例集】

●取組結果

- ・研修会は、参加者から「女性の心身について理解が深まった」や「意識・行動が変わった」といった声と、継続を求める意見が多く寄せられました。
- ・研修動画や育児休業取得事例集は、組織全体の職場風土づくりに繋がり、将来的な職員の採用増加が期待できます。

●今後の展開について

- ・今回の事業は、男女の相互理解が一層進み、誰もが働きやすい環境づくりに繋がると考えます。今後も、あいFIREワーキンググループを継続し、県内の女性活躍推進事業の課題の抽出と、必要とされる事業に向けて県内一丸となって取り組んでいきます。そして、全ての職員が輝く職場環境を目指し続けます。

女性消防吏員活躍推進モデル事業

【徳島県】

メディアミックス「共感型」 女性消防吏員魅力発信事業



・県内消防職員数：1,094名
・女性消防吏員数：16名（1.5%）

●事業概要

徳島県は 消防吏員に占める女性の比率が全国平均に比べ低水準であり、さらに県内消防本部の約9割が小規模消防本部であることから、県がリーダーシップを取り、各消防本部を支援しなければならないと考えました。

県内の女性消防吏員数を増加させるため、これから社会に出る若者世代のみならず、その親世代、現役女性消防吏員といった異なる視点に立ち、それぞれに効果的な取組を検討し、事業展開しました。

●事業内容

【メディアミックス広報強化】

（対象：若者世代、その親世代）

- ①「動画」及び「チラシ・ポスター」を作成
- ②SNS及び県内ショッピングモールにて配信
- ③地域情報誌へチラシ掲載
- ④教育機関等各種県内施設にチラシ・ポスターを配布

採用促進

【講演会・交流会の実施】

（対象：現役女性消防吏員）

県内で女性活躍推進分野において御活躍されている方を講師として招き、「講演（キャリア形成）」「交流会（経験共有）」を実施

組織定着



動画ショート
Ver. →



動画ロング
←Ver.



広報ポスター



広報チラシ



●取組結果（R8.3時点）

- ・YouTube再生回数（ロングVer.） 約2.7万回
- ・YouTube再生回数（ショートVer.） 約11.3万回
- ・WEB広告表示回数 約17.9万回
- ・デジタルサイネージ表示回数 約6.8万回
- ・地域情報紙への広告掲載 4回
- ・チラシ・ポスター配布 約140か所

●今後の展開について

県主催のイベントでのチラシの配布、動画の放映に加え、**県内消防本部**に対し、**地域住民へのチラシの配布や動画の発信等**、女性消防吏員の採用促進に積極的に活用するよう、働きかけていきます。

女性消防吏員活躍推進モデル事業

【高知県】

WEB広報の展開及び消防の仕事体験ツアーの開催



- ・県内消防職員数：1,193名
- ・女性消防吏員数：22名（1.8%）

●事業概要

- ・県内の女性消防士が出演する**女性消防士PR動画**の作成
- ・若者の女性を対象とした**消防の仕事体験ツアー**の開催

- ▶ **県内消防本部の消防職員採用資格試験における女性の応募者増に繋げ、県内の女性消防士の増加を図る！**

女性消防士PR動画
ご視聴はこちらから！



●事業内容

①女性消防士PR動画

- ・「現時点で消防の仕事に興味のない女性」をターゲットとし、若い女性の就職観を踏まえたPR動画を3本作成

◆ オフも充実編 ◆ 体力だけじゃないんだ編 ◆ きっかけ・やりがい編

- ・若い女性の動画視聴の特徴に合わせた**ショート**の縦型動画とした。

- ・県内の所属消防本部が異なる**女性消防士3名**が出演。撮影場所は消防本部や地元カフェに協力をいただいた。

- ・完成した動画は県公式YouTubeにアップロード。**WEB広告の配信**を実施（YouTube、Instagram等）



オフも充実編



体力だけじゃないんだ編



きっかけ・やりがい編

②消防の仕事体験ツアー（「女性のための消防のおしごと体験バスツアー」）

～実施日時など～

日時：令和7年8月19日（火）
12時30分～17時00分
場所：高知市中央消防署、
高知県消防学校

～募集広報～

- ・募集チラシの作成
県内高校・大学等64箇所に配布
- ・WEB広告の配信
Instagramなどに広告を配信
- ▶ **参加者21名**
(学生17名、保護者4名)

募集チラシ



当日の様子



消防署見学



女子会
(参加者と女性消防吏員の意見交換)



バスにて移動



放水体験

●取組結果

①女性消防士PR動画

- ・YouTube総再生回数 約3.6万回（令和8年2月時点）
- ・WEB広告総表示回数 約18.7万回

- ▶ **若い女性に広く「女性消防士」の存在を知ってもらうことができた。**

②消防の仕事体験ツアー

- ・アンケート回答者すべてが「よかった」と回答

- ▶ **消防の仕事のやりがいや魅力が伝わり、消防の仕事を自らの職業の選択肢に含めてもらうことに繋がった。**

女子会やバス移動で聞きたいことがたくさん聞けてよかったです！



高校生

危険な仕事とは思いますが、自分の身を守る訓練を知り、少し不安がなくなりました。



保護者

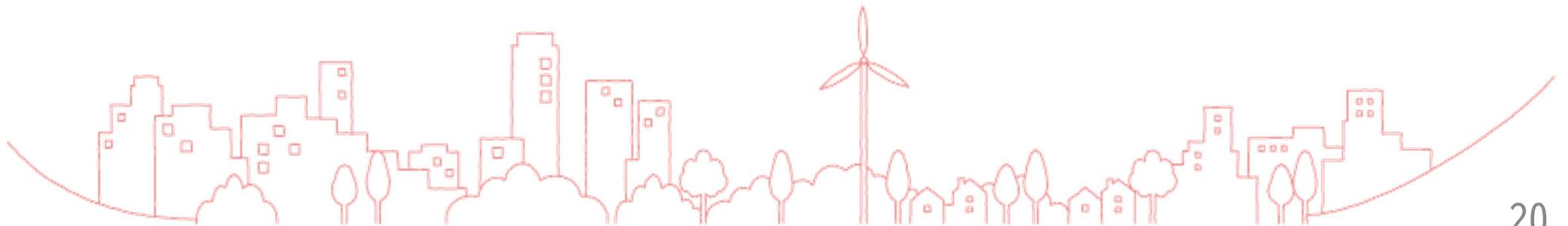
●今後の展開について

- ・令和8年度以降も作成したPR動画を年間を通して継続的に配信
- ・令和8年度以降も県内消防本部と連携し同様のイベントを開催予定

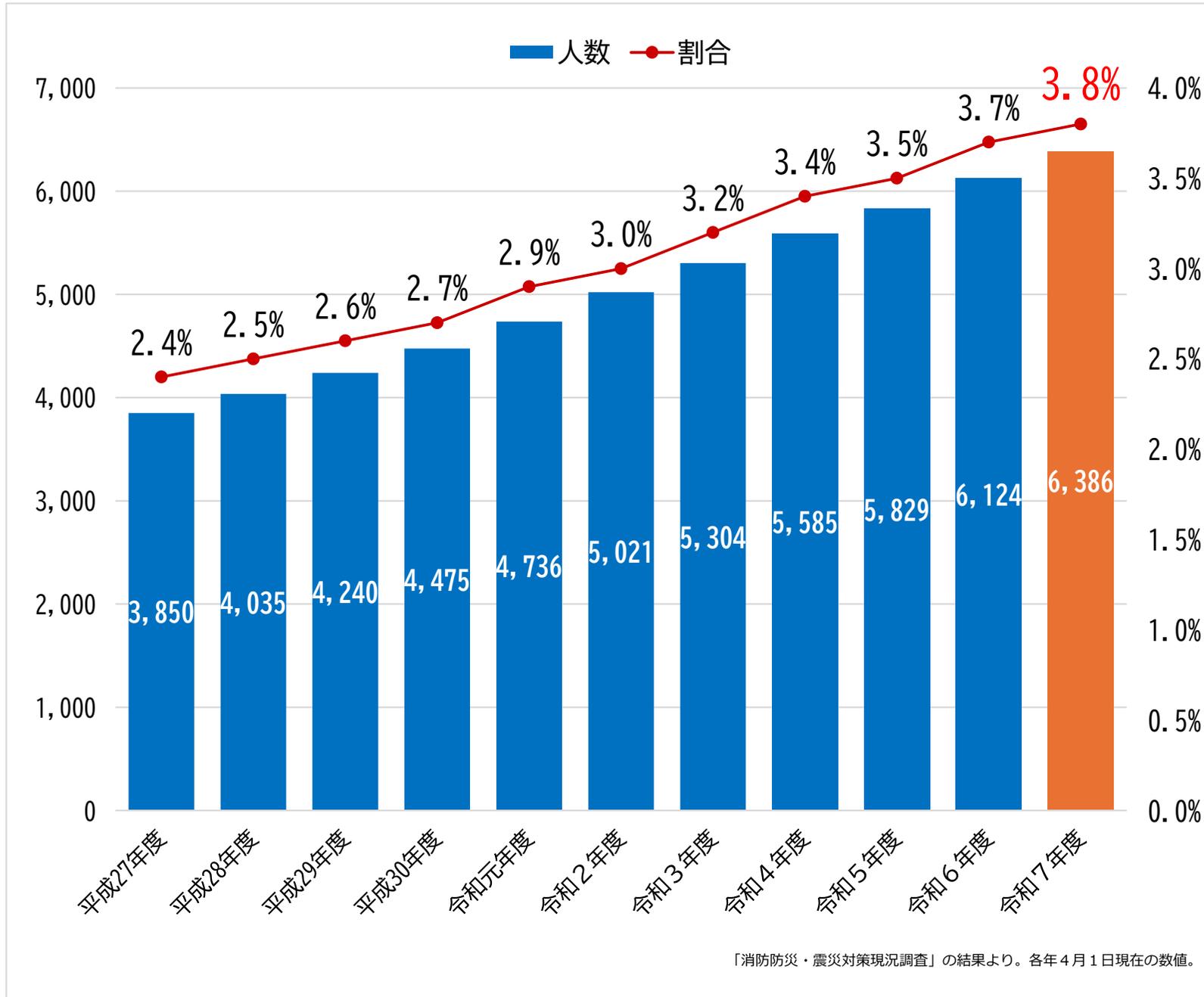
- ▶ **女性消防士の増加を目指し、女性の応募者増に向けて引き続き取り組んでいく！**

第3章

女性消防吏員活躍推進に係る基礎資料



女性消防吏員数及びその割合の推移



官公庁における女性の割合

警察官

12.0% (R7.4.1)

※「令和6年版 警察白書」より

自衛官

9.1% (R7.3.31)

※「令和6年版防衛白書」より

国家公務員

27.3% (R7.7.1)

※「一般職国家公務員在職状況統計表」より
※行政職俸給表(一)適用者

地方公務員

34.0% (R5.4.1)

※「令和5年地方公務員給与実態調査」より
※一般行政職

全国の消防吏員数に占める女性割合

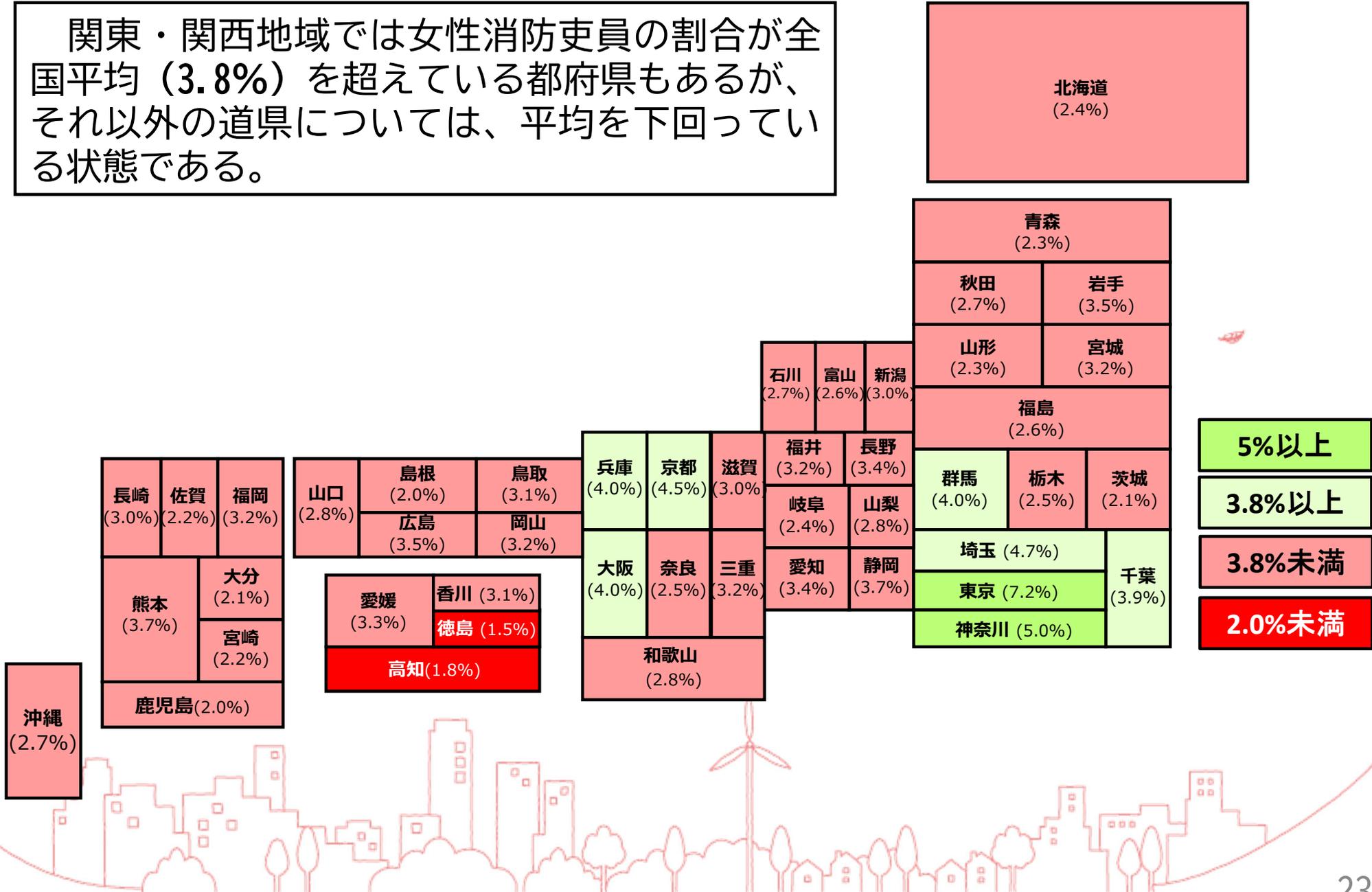
	令和5年度 (令和5年4月1日 現在)			令和6年度 (令和7年1月1日 現在)			令和7年度 (令和7年4月1日 現在)		
	全数 (A)	うち女性 (B)	割合 (B/A)	全数 (A)	うち女性 (B)	割合 (B/A)	全数 (A)	うち女性 (B)	割合 (B/A)
全数	166,287	5,829	3.5%	165,580	6,034	3.6%	168,230	6,386	3.8%
日勤者	36,110 (21.7%)	2,868 (49.2%)	7.9%	34,325 (20.7%)	2,861 (47.4%)	8.3%	37,059 (22.0%)	3,137 (49.1%)	8.5%
消防隊	71,127 (42.8%)	1,261 (21.6%)	1.8%	72,249 (43.7%)	1,489 (24.7%)	2.1%	69,114 (41.1%)	1,427 (22.3%)	2.1%
救急隊	30,230 (18.2%)	1,193 (20.5%)	3.9%	30,166 (18.2%)	1,189 (19.7%)	3.9%	31,052 (18.5%)	1,259 (19.7%)	4.1%
救助隊	13,511 (8.1%)	25 (0.4%)	0.2%	13,921 (8.4%)	39 (0.6%)	0.3%	13,620 (8.1%)	47 (0.7%)	0.3%
指揮隊	6,890 (4.1%)	196 (3.4%)	2.8%	7,135 (4.3%)	205 (3.4%)	2.9%	6,844 (4.1%)	196 (3.1%)	2.9%
その他	8,419 (5.1%)	286 (4.9%)	3.4%	7,784 (4.7%)	251 (4.2%)	3.2%	10,541 (6.3%)	320 (5.0%)	3.0%

「女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組等に関する調査」の調査結果より

注：兼務している職員は、主に従事している部隊で回答しており、他の調査と数字が合わない場合がある。

都道府県別女性消防吏員割合（令和7年4月1日現在）

関東・関西地域では女性消防吏員の割合が全国平均（3.8%）を超えている都府県もあるが、それ以外の道県については、平均を下回っている状態である。

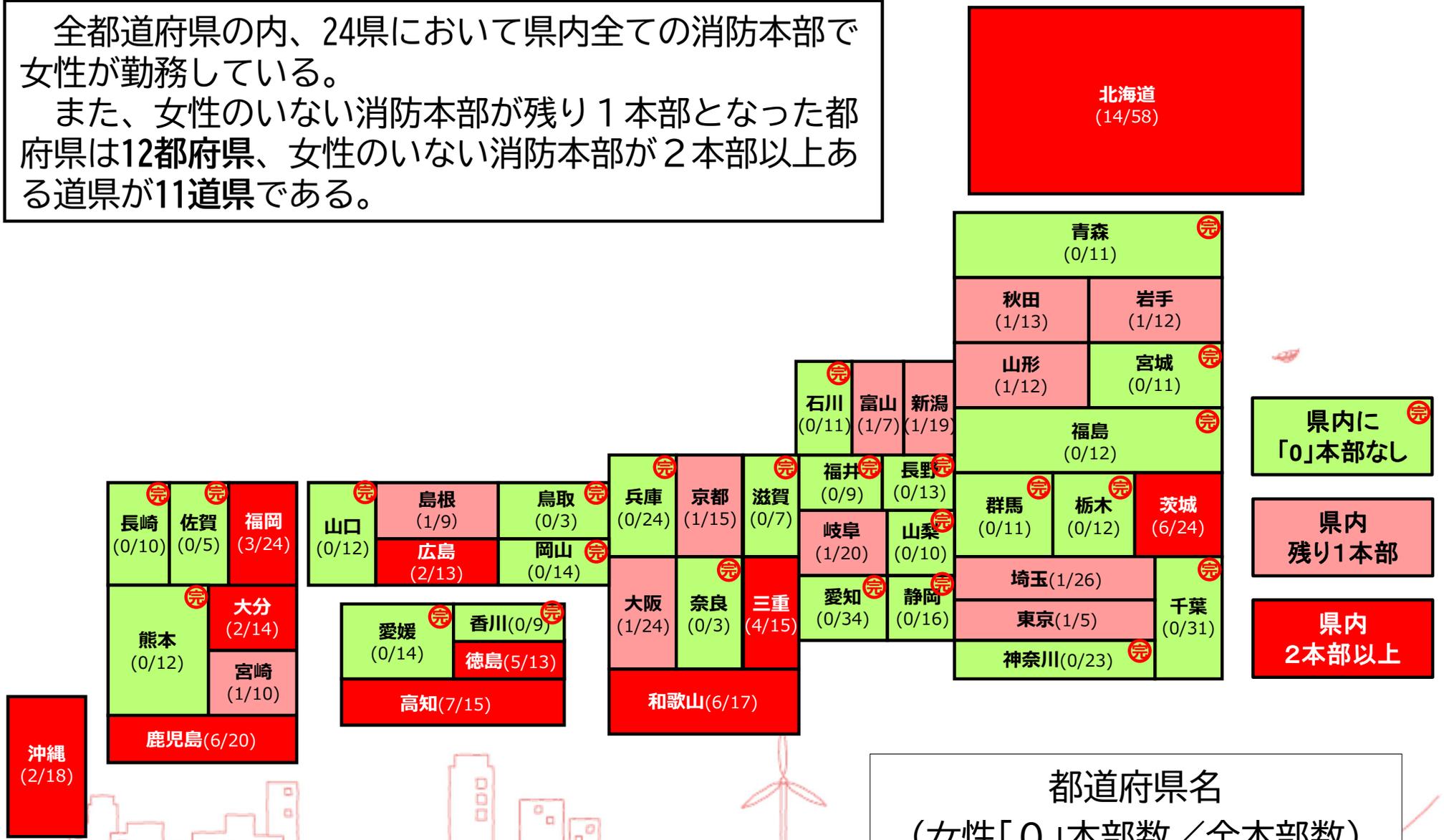


- 5%以上
- 3.8%以上
- 3.8%未満
- 2.0%未満

都道府県別女性消防吏員「0」本部の割合（令和7年4月1日現在）

全都道府県の内、24県において県内全ての消防本部で女性が勤務している。

また、女性のいない消防本部が残り1本部となった都府県は12都府県、女性のいない消防本部が2本部以上ある道県が11道県である。

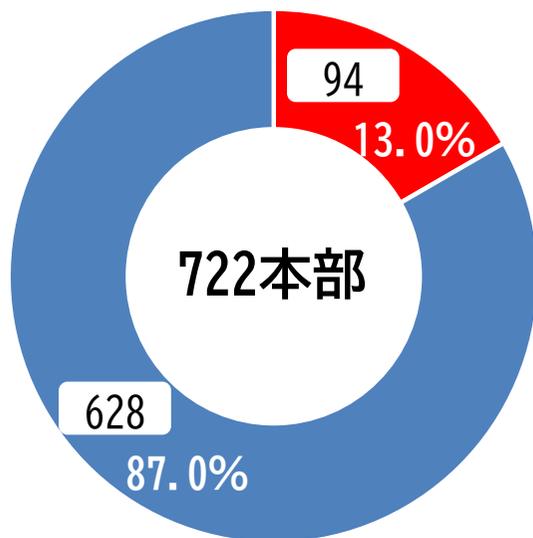


都道府県名
(女性「0」本部数 / 全本部数)

女性消防吏員「0」本部 3年間の推移

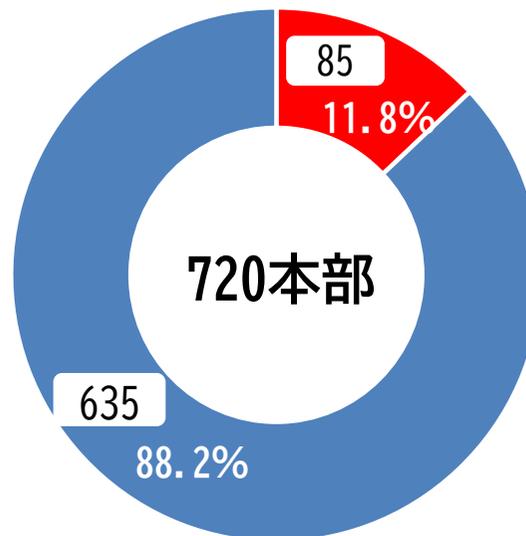
令和7年4月1日現在の女性消防吏員「0」の消防本部は全720消防本部中、69本部で毎年減少している。

令和5年4月1日現在



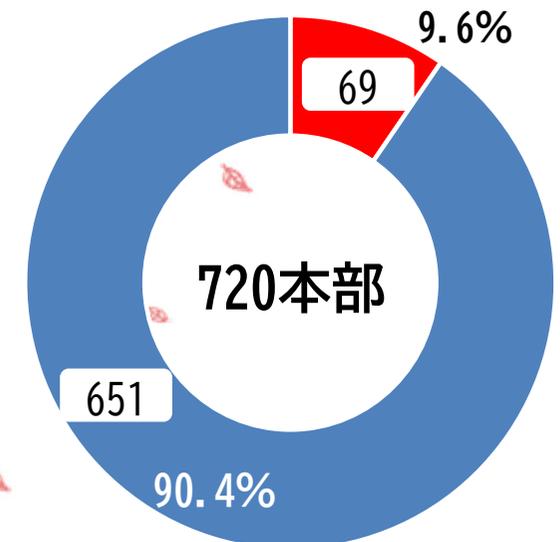
9本部
減少

令和6年4月1日現在



16本部
減少

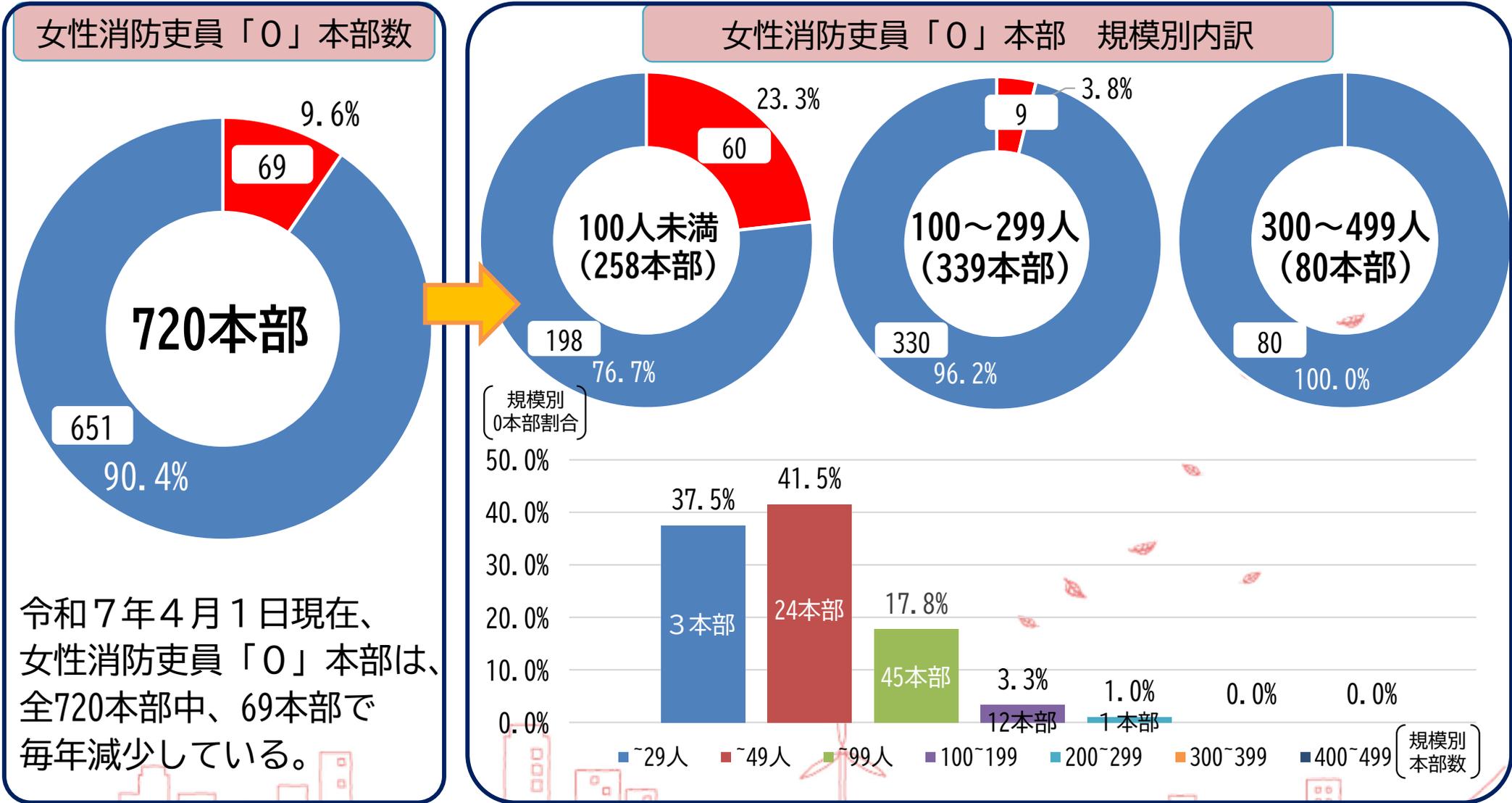
令和7年4月1日現在



■ 女性消防吏員「0名」の消防本部 ■ 女性消防吏員「1名以上」の消防本部

消防本部規模ごとの女性消防吏員「0」本部の割合（令和7年4月1日現在）

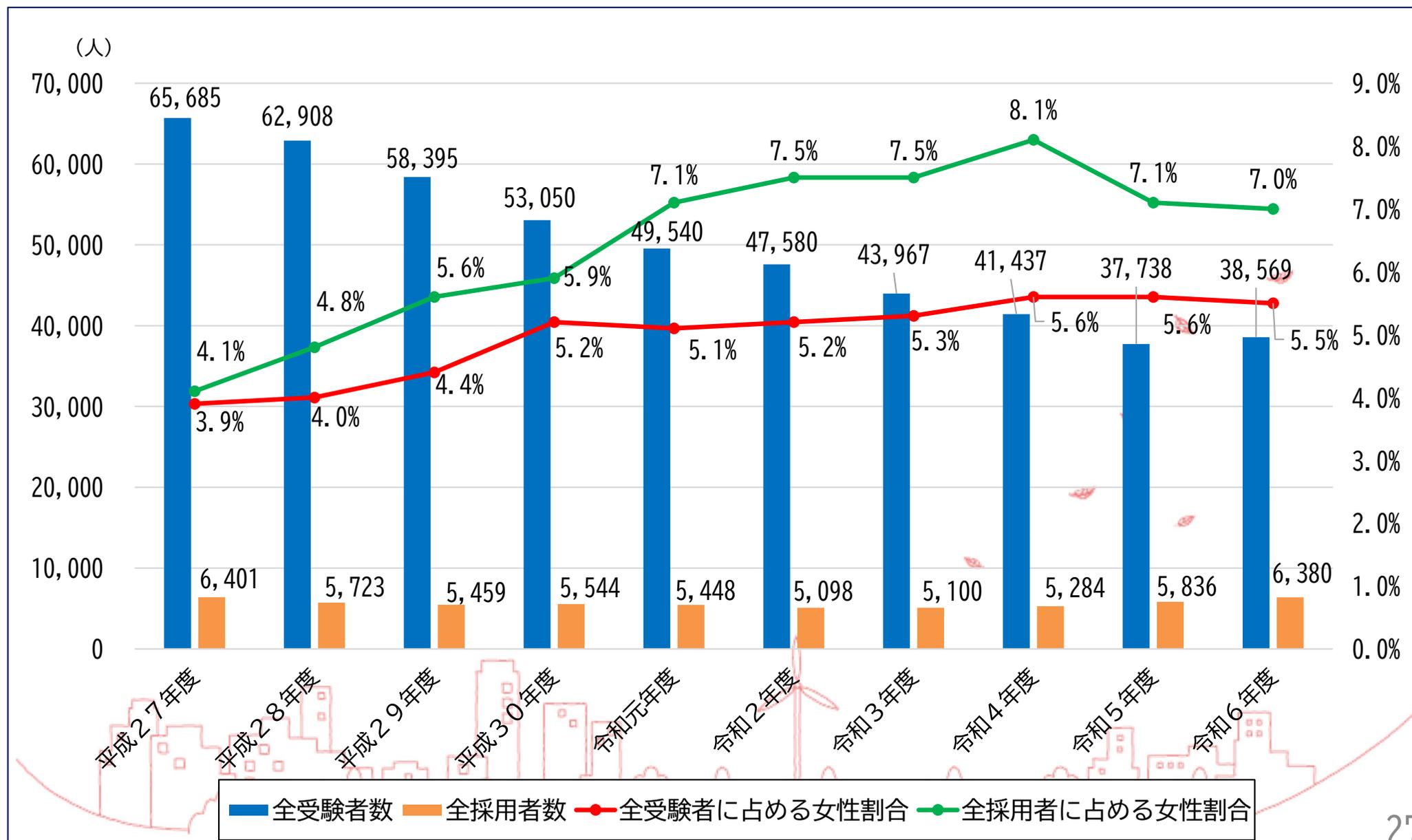
消防本部の規模が小さいほど女性消防吏員「0」本部の割合が高い。



■ 女性消防吏員「0名」の消防本部 ■ 女性消防吏員「1名以上」の消防本部

消防吏員の採用状況等①

⇒ 受験者数及び採用者数に占める女性の割合は増加傾向にあったが、令和5年度以降、受験者数及び採用者に占める女性の割合は横ばいである。



消防吏員の採用状況等②

採用試験 実施年度	応募者			受験者			合格者			採用者		
	合計	うち 女性	女性 割合	合計	うち 女性	女性 割合	合計	うち 女性	女性 割合	合計	うち 女性	女性 割合
平成26年度	86,371	3,473	4.0%				7,449	270	3.6%	6,720	235	3.5%
平成27年度	82,143	3,313	4.0%	65,685	2,531	3.9%	7,450	332	4.5%	6,401	261	4.1%
平成28年度	77,052	3,205	4.2%	62,908	2,512	4.0%	6,512	356	5.5%	5,723	274	4.8%
平成29年度	72,509	3,253	4.5%	58,395	2,566	4.4%	6,354	374	5.9%	5,459	306	5.6%
平成30年度	65,352	3,430	5.2%	53,050	2,734	5.2%	6,351	411	6.5%	5,544	329	5.9%
令和元年度	61,563	3,292	5.4%	49,540	2,526	5.1%	6,311	451	7.2%	5,448	386	7.1%
令和2年度	60,188	3,259	5.4%	47,580	2,469	5.2%	6,673	500	7.5%	5,098	380	7.5%
令和3年度	54,661	3,076	5.6%	43,967	2,347	5.3%	5,816	474	8.2%	5,100	383	7.5%
令和4年度	52,040	3,055	5.9%	41,437	2,304	5.6%	6,125	495	8.1%	5,284	426	8.1%
令和5年度	46,452	2,548	5.5%	37,738	2,109	5.6%	6,953	550	7.9%	5,836	415	7.1%
令和6年度	47,403	2,607	5.5%	38,569	2,121	5.5%	7,211	596	8.3%	6,380	448	7.0%

※ 平成26年度以前の受験者は統計なし

「女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組等に関する調査」の調査結果より

女性消防吏員の割合が高い本部（令和7年4月1日現在）

No.	都道府県	消防本部名	令和7年度			令和6年度			増減	
			消防吏員数			消防吏員数			令和6年度－令和5年度	
			合計	うち女性	女性割合	合計	うち女性	女性割合	合計	うち女性
1	秋田県	五城目町消防本部	31	3	9.7%	29	1	3.4%	2	2
2	東京都	大島町消防本部	21	2	9.5%	20	1	5.0%	1	1
3	山形県	東根市消防本部	58	5	8.6%	55	3	5.5%	3	2
4	兵庫県	猪名川町消防本部	47	4	8.5%	47	4	8.5%	0	0
5	東京都	八丈町消防本部	24	2	8.3%	28	2	7.1%	△ 4	0
6	新潟県	柏崎市消防本部	156	13	8.3%	152	11	7.2%	4	2
7	長崎県	対馬市消防本部	89	7	7.9%	90	7	7.8%	△ 1	0
8	新潟県	阿賀町消防本部	64	5	7.8%	65	5	7.7%	△ 1	0
9	神奈川県	大磯町消防本部	52	4	7.7%	50	4	8.0%	2	0
10	石川県	内灘町消防本部	39	3	7.7%	37	2	5.4%	2	1
11	埼玉県	蓮田市消防本部	96	7	7.3%	96	7	7.3%	0	0
12	東京都	東京消防庁	19,545	1,404	7.2%	19,381	1,387	7.2%	164	17
13	千葉県	富津市消防本部	98	7	7.1%	95	7	7.4%	3	0
14	神奈川県	逗子市消防本部	99	7	7.1%	95	6	6.3%	4	1
15	静岡県	御前崎市消防本部	73	5	6.8%	74	5	6.8%	△ 1	0
16	愛媛県	愛南町消防本部	44	3	6.8%	43	3	7.0%	1	0
17	兵庫県	芦屋市消防本部	119	8	6.7%	119	7	5.9%	0	1
18	兵庫県	川西市消防本部	166	11	6.6%	166	11	6.6%	0	0
19	静岡県	掛川市消防本部	124	8	6.5%	120	7	5.8%	4	1
20	埼玉県	戸田市消防本部	156	10	6.4%	152	8	5.3%	4	2

- 女性消防吏員の割合が多い本部上位20本部のうち14本部は、消防吏員数が100名未満。
- 小規模な消防本部においても女性消防吏員の割合が高い本部はある。

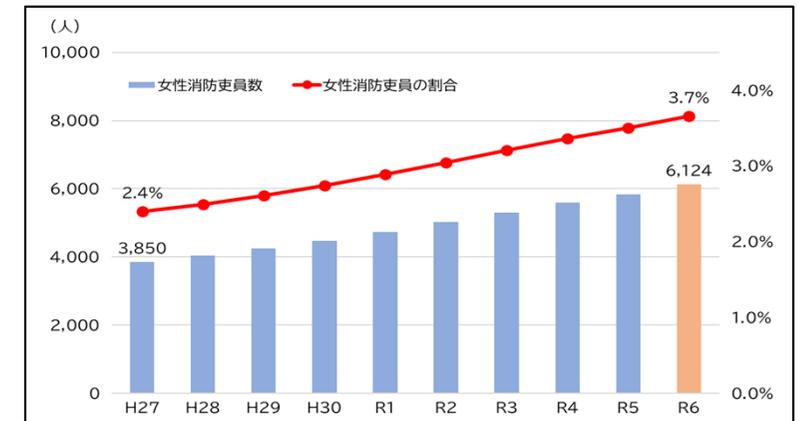
「消防本部における女性活躍推進に関する検討会報告書」の概要①

「消防本部における女性活躍推進に関する検討会」概要

- 平成27年に「消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会報告書」が取りまとめられて以降、女性消防吏員数は着実に増加しており、多くの女性消防吏員が緊急消防援助隊の隊員として災害現場に派遣されるなど、新たな活躍の場も見られるようになった。
- この10年で社会全体が大きく変化しており、消防本部でも様々な人材の活躍が求められている。一方で多様性やダイバーシティ&インクルージョンは、社会的にも組織の持続的成長や変革の鍵として求められており、消防本部における環境整備は一層重要性を増している。
- このような背景を踏まえ、本検討会では女性消防吏員の確保・育成・職域拡大をさらに推進するための方策、そしてハラスメント対策を含め、性別や年齢を問わずすべての消防吏員が継続して勤務できる働きやすい職場環境を実現するための取組のあり方を検討し、その内容をとりまとめた。

消防本部における女性活躍推進の現状

- 女性消防吏員数は6,124人、消防吏員に占める比率は3.7% (@R6.4.1)
- 消防士長以下の階級にある女性消防吏員は74.1%、消防司令補以上の階級にある女性消防吏員は25.9%
- 毎日勤務に従事する女性消防吏員は47.4%、交替制勤務に従事する女性消防吏員は48.4%



検討項目・構成員

<検討項目>

- ① 女性消防吏員の確保のための方策
- ② 女性消防吏員の育成や職域拡大を推進するための方策
- ③ 女性消防吏員の働きやすい職場環境づくりに向けた方策
- ④ 令和8年度当初以降の共通目標の扱い
- ⑤ ハラスメント対策の質を向上させるための方策

<構成員>

- | | | | |
|---------|-----------------------------|--------|-------------------------|
| ・中澤 真弓 | 日本体育大学 保健医療学部救急医療学科 教授【座長】 | | |
| ・間 浩高 | 松山市消防局 総務課長 | | |
| ・蟹 博文 | 豊田市消防本部 総務課長 | ・野口 深雪 | 相模原市消防局 南消防署長 |
| ・鈴木 亜弥子 | 川口市消防局 理事兼南消防署長 | ・増田 直毅 | プラッサ法律事務所 弁護士 |
| ・巽 真理子 | 大阪公立大学 ダイバーシティ研究環境研究所 客員准教授 | | 全国消防長会 顧問弁護士 |
| | ひとケア・ワークLab. 主宰 | ・松崎 優佳 | (一社)日本産業カウンセラー協会 本部理事 |
| ・鶴見 純 | 東京消防庁 職員課長 (~令和7年9月30日) | ・松本 和晃 | 佐賀広域消防局 副局長兼総務課 |
| | | ・三戸 敦裕 | 東京消防庁 職員課長 (令和7年10月1日~) |

「消防本部における女性活躍推進に関する検討会報告書」の概要②

消防本部等に対する調査結果概要

①女性消防吏員活躍推進に関する調査（消防本部向け）

- ・直近に実施した大学卒業・専門学校卒業・高校卒業程度採用試験における年齢要件
 - いずれの試験区分も、30歳以下の年齢を上限としている消防本部が大半
- ・令和6年度中に自己都合（勸奨退職を除く）により離職した消防吏員数及び離職時点の勤務年数・離職理由の内訳
 - 採用10年未満の離職者が全離職者の半数、採用30年以上の離職者が全離職者の2割
 - 離職理由では、採用10年未満の離職者は「転職（民間企業）」、採用30年以上の離職者は「病気・怪我」が最多 など

②女性消防吏員活躍推進に関する調査（女性消防吏員向け）

- ・初めて消防士になることを志した時期
 - 高校生、専門学生、大学生の時期との回答が全回答の7割、小学生、中学生、社会人の時期との回答がそれぞれ全回答の1割前後
- ・定年まで働きたいと思わない理由
 - 体力的に困難だと感じている女性消防吏員が最多、家庭と仕事との両立が困難だと感じている女性消防吏員は全回答の約2割
- ・管理職員になるまで昇任したいと思わない理由
 - 実務者として業務に従事したいとの回答が最多、上司の姿を見ていると昇任に魅力を感じない等の回答も多かった など

今後に向けた取組

○ 女性消防吏員の比率に関する数値目標の設定

- ・消防庁が目安となる目標を掲げつつ、各消防本部が毎年度の採用者数や女性専用施設の整備状況等を踏まえ自律的に目標を設定。
- ・国内の他機関や諸外国の消防機関における女性比率がすでに10%前後に達していることや、現状、女性採用者の比率が7%程度にとどまり、消防本部間のばらつきも大きいことを踏まえると、「採用段階」での女性の比率を早期に引き上げることが最優先課題。
- ・以上を踏まえ、消防庁が掲げる消防本部全体の目安となる女性消防吏員の比率に関する目標を以下のとおり設定。
 - 将来的に女性消防吏員の比率を10%程度まで引き上げることとし、まずは、5年後（令和13年度）までに採用者に占める女性の比率を10%以上にする。

○ 女性消防吏員の確保のための方策

- ・対面式の広報に加え、SNS等の情報発信力の高いデジタル媒体の活用を中心とした広報の実施
- ・採用試験における年齢要件の緩和や経験者採用区分等の設定
- ・採用10年未満の若手職員に対する離職防止のための研修や職場ミーティング、高齢期職員の活躍維持に向けた取組や適材適所の配置等の実施 等

○ 女性消防吏員の働きやすい職場環境づくりのための方策

- ・女性消防吏員の意向等を踏まえた機能性や利便性を考慮した施設の整備や改修
- ・消防吏員が家庭の事情等に伴い柔軟な働き方が選択できるよう、テレワーク制度、フレックス制度の導入 等

○ 女性消防吏員の育成や職域拡大を推進するための方策

- ・女性消防吏員のキャリアパスイメージやロールモデルの提示
- ・女性消防吏員の要望を踏まえた小型化・軽量化した資機材や災害派遣時の宿営用資機材の整備 等

検討会報告書を踏まえた女性消防吏員の更なる活躍に向けた通知概要①

- 令和7年4月から「消防本部における女性活躍推進に関する検討会」を開催（計6回）し、令和8年度以降の新たな目標や女性消防吏員の確保のための方策等について検討。
- 検討会報告書を踏まえ、「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍の推進及びハラスメント対策の徹底について」（令和8年1月14日消防消第11号）を発出し、各消防本部に対し、女性消防吏員の活躍推進に向けた積極的な取組を要請。

消防庁が掲げる新たな目標

- 女性消防吏員の比率について将来的に10%程度まで引き上げることを目指し、まずは5年後（令和13年度）までに採用者に占める女性の比率を10%以上とする。

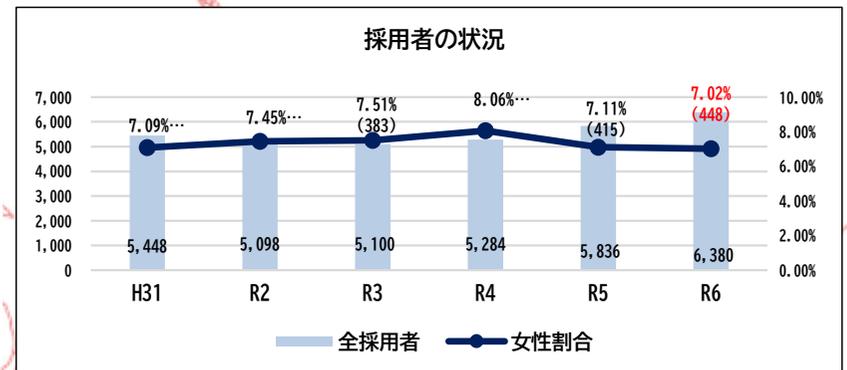
<新たな目標の考え方>

- 国内の他機関や諸外国の消防機関における女性比率がすでに10%前後に達していることを参考（右表）。
- 現状、女性採用者の比率が7%程度にとどまり、消防本部間のばらつきも大きいことを踏まえると、「採用段階」での女性の比率を早期に引き上げることが最優先課題であること。
- 消防庁が目安となる目標を掲げつつ、各消防本部が毎年度の採用者数や女性専用施設の整備状況等を踏まえ自律的に目標を設定。

<他機関における女性の比率の状況>

組織名等		女性比率
消防吏員（R7.4.1）		3.8%
自衛官（R7.3.31）		9.1%
海上保安官（R6.4.1）		9.5%
警察官（R7.4.1）		12.0%
海外 消防	台湾（2020）	11.8%
	韓国（2022）	9.7%
	イングランド（2024）	10.3%

(※) 各機関のHP等による



検討会報告書を踏まえた女性消防吏員の更なる活躍に向けた通知概要②

- 女性消防吏員の比率に関する新たな目標の達成に向け、今後、各消防本部において以下の取組を実施するとともに、取組の内容や達成状況等を踏まえて適宜検証を行い、必要に応じて目標の見直しを図っていただきたい。

今後に向けた取組

<女性消防吏員の確保のための方策>

- ・ 対面式の広報に加え、SNS等の情報発信力の高いデジタル媒体の活用を中心とした広報の実施
- ・ 採用試験における年齢要件の緩和や経験者採用区分等の設定
- ・ 業務説明会や面談等を通じた採用試験合格者に対するフォロー
- ・ 採用10年未満の若手職員に対する離職防止のための研修や職場ミーティングの実施
- ・ 高齢期職員の活躍維持に向けた取組や適材適所の配置等の実施 など

<女性消防吏員の働きやすい職場環境づくりのための方策>

- ・ 女性消防吏員の意向等を踏まえた機能性や利便性を考慮した施設の整備や改修
- ・ 消防吏員が家庭の事情等に伴い柔軟な働き方が選択できるよう、テレワーク制度、フレックス制度の導入
- ・ 休暇・休業の取得や各種制度の利用等について相談できるメンター・相談員の導入 など

<女性消防吏員の育成や職域拡大を推進するための方策>

- ・ 女性消防吏員のキャリアパスイメージやロールモデルの提示
- ・ 女性消防吏員の要望を踏まえた小型化・軽量化した資機材や災害派遣時の宿営用資機材の整備
- ・ 女性消防吏員の幅広い業務への配置転換による能力開発、育児休業者などの復職者等に対するサポート体制を導入 など

男性消防職員の育児休業等の取得促進に向けた取組

- 男性の育児休業等の取得は、本人にとって子育てに能動的に関わる契機として重要であるとともに、組織にとっても、多様な人材を活かすマネジメント力の向上や子育てに理解ある職場風土の形成等の観点から重要。
- 男性消防職員の育児休業取得率の政府目標については、「こども未来戦略方針」（令和5年6月閣議決定）や「こども未来戦略」（令和5年12月閣議決定）において、民間と同様に、令和7年までに50%、令和12年までに85%となっている。

現 状

育児休業取得率
(令和6年度)

43.3%

数値目標を設定している団体数
(令和6年4月時点)

344本部
(47.8%)

政府目標を満たした
数値目標を設定している団体数
(令和6年4月時点)

147本部
(20.4%)

消防本部における取組事例

- 育休取得予定者の把握・共有（実施している本部：374本部（51.9%））
- 管理職による面談（実施している本部：350本部（48.6%））
- 育児休業取得の勧奨・呼びかけ（実施している本部：414本部（57.5%））
- 部隊運用上の工夫（実施している本部：427本部（59.3%））

半数の消防本部で未実施

4割超の消防本部で未実施

消防本部	人口 (令和6年1月時点)	育休取得率 (令和5年度)	育休取得率 (令和4年度)
福岡県福岡市消防局	159.3万人	104.6%	51.3%
石川県金沢市消防局	44.5万人	61.8%	4.0%
千葉県成田市消防本部	13.2万人	54.5%	8.3%

（1年間で大幅に
上昇している。）

- 目標達成に向け、各消防本部において適切に育児休業取得率の目標を設定した上で、育休取得予定者の把握・共有や管理職による面談、幹部職員・所属長などによる育休対象者に対する取得奨励や育休取得計画書の作成、育児休業期間中における部隊運用の調整等、各種取組を積極的に実施していただき、計画的に取得促進に取り組んでいただきたい。

女性活躍推進に係る消防庁の取組（R7年度まで）

消防本部における
女性活躍推進に関
する検討会資料

消防本部における女性職員の更なる活躍に向けた検討会（平成27年）

- 全消防吏員に占める女性の割合が非常に少ない状況（2.4%）であり、消防と同様に現場業務に従事する警察や自衛隊等と比較しても低調であることから、女性消防吏員の活躍推進に向けた取組の強化について検討するため開催

検討会報告書の提言等を踏まえた「次長通知」の発出（平成27年7月29日）

- 「消防本部における女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進について（平成27年7月29日付消防消第149号消防庁次長通知）」を発出し、女性消防吏員の計画的な増員等について消防本部に要請
- * 数値目標の設定（全国の消防吏員に占める女性消防吏員比率を令和8年度当初までに5%に引き上げること）
- * 女性消防吏員ゼロ本部の早期解消（可能な限り速やかに複数の女性消防吏員を確保すること）
- * 女性の採用の拡大に向けた積極的な取組（積極的なPR活動、採用試験の身体的制限など）
- * 適材適所を原則とした女性消防吏員の職域の拡大
- * 消防本部の幹部職員の意識改革
- * 施設・装備の改善
- * 女性の活躍情報の「見える化」の推進
- など

消防庁としての取組（平成28年度～R7年度）

- ・ 女性消防吏員の活躍推進のためのポータルサイトの開設
- ・ 女性消防吏員PRポスターの作成
- ・ 消防本部サーチの開設
- ・ SNS広告、電車広告
- ・ 女性消防吏員PR動画の制作
- ・ 採用説明会や職業体験イベントの実施
- ・ 女性消防吏員活躍推進アドバイザーの派遣
- ・ 消防庁女性活躍ガイドブックの作成
- ・ 女性消防吏員活躍推進支援事業（モデル事業）
- ・ 消防本部の幹部職員等に対する研修の実施
- ・ 消防庁舎における女性専用施設等の整備に対する財政措置
- など

消防本部における女性消防吏員の活躍推進を含めた留意事項に係る通知の発出（令和7年1月31日）

- 「令和6年度消防庁補正予算、令和7年度消防庁予算案及び令和7年度の消防防災に関する地方財政措置の見通し等を踏まえた留意事項について」（令和7年1月31日付消防庁総務課事務連絡）を発出し、緊急消防援助隊等の大規模災害時の応援派遣において、初期段階から女性消防吏員を派遣できるよう、男女ともに意欲や適性を踏まえつつ活躍できる環境の整備等、女性消防吏員の活躍推進について消防本部に要請

女性活躍推進に係る消防庁の取組（R7年度まで）

消防本部における女性活躍推進に関する検討会資料

女性消防吏員の活躍推進のためのポータルサイト

トップページ

- 消防庁ホームページに専用のポータルサイトを設け、女性消防吏員のいきいきと働く姿を紹介



女性消防士インタビュー

- 救助、救急、予防、通信指令の各業務に従事する女性消防士の「生の声」を紹介



女性消防士活躍ムービー

- 女性消防士の現場活動や消防学校での生活を動画で紹介



まるわかり #消防女子

- 女性消防士のプライベートや趣味等を紹介



女性消防吏員PRポスター

- 女子学生に向けた女性消防吏員の認知度の向上及び全国の消防本部の採用試験における女性の受験者数増加を目的とし、PRポスターを作成



（令和7年度）



（令和4年度）



（平成30年度）

消防本部サーチ

- 全国の採用試験情報等を掲載したポータルサイト内の専用ページ
- 各消防本部の採用試験情報のほか、職員数、女性消防吏員数、災害発生件数等も掲載



SNS広告・PR動画・電車広告

○ SNS広告・ディスプレイ広告

- ・ 18～21歳の女性を対象にしたFacebookやInstagramにおけるSNS広告や、Googleのディスプレイ広告を実施



○ PR動画

- ・ 女性消防吏員が出演したPR動画を作成し、YouTubeで公開



○ 電車広告

- ・ 主要都市の地下鉄内の中吊り広告、車内サイネージ等への掲載

採用説明会・職業体験イベント

○ 採用説明会

- ・ 基調講演やパネルディスカッション、各消防本部のブースにおいて消防業務や採用試験等の説明



○ 消防署見学

- ・ 女性消防吏員による説明や質疑応答、訓練、車両、資機材及び施設の見学



○ Webセミナー

- ・ 女性消防吏員等が出演し、業務説明や質疑応答



女性消防吏員活躍推進アドバイザー

- 女性消防吏員の活躍を積極的に推進するため、平成29年12月1日に運用開始
- アドバイザーは、女性活躍推進における豊富な知識又は経験を有している消防吏員や有識者から選定（令和6年4月1日現在、24名）
- 消防本部や消防学校等の要望に応じて、アドバイザーを派遣し、講演等において、女性活躍の意義、女性専用施設の整備、人事配置上の配慮、効果的な広報などの具体的な方策を助言



消防庁女性活躍ガイドブック

- 「各消防本部の取組事例」や「女性消防吏員活躍推進支援事業」、「基礎データ資料」を掲載したガイドブックを毎年度作成

女性消防吏員活躍推進支援事業（モデル事業）

- 消防本部における女性活躍推進に向けた先進的かつ効果的な事業について募集し、国の委託事業として実施
 - ・ 女性消防吏員PR動画の制作
 - ・ 女性消防吏員PRポスターの制作
 - ・ Web広告
 - ・ デジタル空間を活用した消防署見学・業務説明会
 - ・ 消防署紹介用VR動画の制作
 - ・ スポーツ専門雑誌への広告掲載
 - ・ 漫画パンフレットによる広報
 - ・ テレビCMの放映
 - ・ 産休・育休明け職員復帰プログラムの作成
 - ・ 1 dayインターンシップの開催
 - ・ 民間企業とタイアップした研修

など



PR動画



PRポスター



漫画パンフレット

消防本部の幹部職員等に対する研修

- 女性活躍推進に関する研修
 - ・ 全消防本部の人事・採用業務に携わる管理職員を対象とした、外部講師によるオンライン研修（講義+グループワーク）
 - ・ 女性活躍の現状、アンコンシャスバイアス、女性職員とのコミュニケーション等について講義
- 採用PRに関する研修
 - ・ 全消防本部の採用広報担当者等を対象とした、外部講師によるオンライン研修（講義+グループワーク）
 - ・ 新卒採用市場の全体観、Z世代の価値観・仕事観、採用活動の流れ、民間企業の取り組み、採用後のフォロー等について講義
- 離職防止に関する研修
 - ・ 全消防本部の管理職員等を対象とした、外部講師によるオンライン研修（講義+グループワーク）
 - ・ ハラスメントやメンタルヘルスの基礎知識、職員のエンゲージメント向上、コミュニケーションスキルの向上等について講義

など

消防庁舎における女性専用施設等の整備に対する財政措置

- 消防庁舎における女性専用施設
 - ・ 女性消防吏員の活躍の場を広げるための消防本部、消防署、出張所及び消防学校における、女性用のトイレ、仮眠室、浴室、更衣室等（特別交付税、防災対策事業債、公共施設等適正管理推進事業債）
 - ・ 緊急消防援助隊受援計画に宿営場所として位置付けられた消防本部、消防署及び出張所における女性専用施設（緊急防災・減災事業債）



浴室・洗面室



仮眠室



女性専用エリア

- 応援派遣時に男女各々の宿営環境を確保するために必要な資機材
 - ・ 簡易トイレ、更衣・仮眠用テント及び区画用パーティションが対象（普通交付税）



簡易トイレ



更衣・仮眠用テント



区画用パーティション